



伊丹特別支援学校進路担当

今号でも、保護者の皆様にいただいた質問への回答について掲載いたします。



Q.卒業生からの情報が知りたいです。

A. 昨年度卒業した7名のご家庭より情報提供していただきました。簡単ではありますが、以下より項目に沿って回答させていただきます。

1 現在の生活に対する満足度について

☐ ほぼ全てのご家庭より現状に満足、概ね満足。

2 今現在困っていることについて

☐ 現段階では困りごとはない。



3 学校生活との大きな違いについて

- ☐ 学校では時間に追われながら過ごしていたところがあり、今はゆったりと過ごしている。
- ☐ 大人の中に入ることで学校生活とは違い、頭では分かっているが、行動に移せずしんどくなっている時期もあった。
- ☐ 現状が逆にゆったりし過ぎているのでゆるくなっている気がする。
- ☐ からだの学習等があまりなく、運動不足になっている。体の変化も起こっている気がする。
- ☐ 思っていたよりも大きな違いはなかった。

4 相談支援専門員とのやりとりについてなにか気になる点について

- ☐ 卒業してから一度も連絡がない。コロナのこともあったし、一度くらい連絡をくれてもと思った。
- ☐ モニタリングで最初の3ヶ月はTELでやりとりを行っていた。
- ☐ 気になる点は特になし。

5 学校でやってもらいたかったことについて

☐ 特になし。十分やってもらっていた。

6 逆にやってもらっていて良かったなと思うことについて

☐ からだの学習やケアをきめ細かく行ってもらえていたこと。

- 食事が食べられない時にも個別対応をしてもらえていたこと。
- 色々な種類の作業やさをり織りをしてもらえていたこと。
- 色々な経験をさせてもらえていたこと。



7 在校生に向けてのメッセージについて

- 進路先を決めるにあたって、絶対に外せないポイントを3つくらい決めておいたほうがよい。
- 学校からの見学会などにはできるだけ参加して、色々な事業所を見に行った。
- 自分の目で沢山見ておくことは良い。
- その子によって違うけど、本人が行かないと言えば行かせられない。
- 学校だと知っている人ばかりだが、事業所に行くと知らない人ばかり。
本人も保護者も不安だったが、今はもう慣れてきた。
- グループホームは親がしんどくなる前に入るべき。
- 共通の人と知り合いになって情報収集をしていくほうがよい。
- 福祉サービスは絶対に利用しておいたほうがよい。
- 話や書類だけでは分からないことが沢山あり、親だから感じることも沢山あると思うので、早い段階で色々な所を見に行った方がよいし、利用もした方がよい。その方が色々と感じることや分かることがある。色々な人と関わる機会を増やすことで子ども達の世界も広がっていく。どうしても子ども達の世界は狭いと思うので、経験することが大事だと思う。
なので、事業所利用は早めに始めた方がよいと思う。



8 その他

- 元気に行ってくれている。それが一番。
- 家族会もあって色々話を聞いている。特支に通っていた人も多く、つながりが広がる。
- 事業所を利用する前にもっと詳しい説明があれば安心できた。実習にも行ったが、利用前に知りたかったなと思うことが多々あった。親向けに細かい説明をしてもらえる機会があればよかったと思う。

昨年度卒業した保護者様から各項目に沿ってお話を聞かせていただきました。卒業生の利用の様子を見学に行かせていただくだけでなく、保護者様にも色々なお話を聞かせていただき、現状について話ができたことは非常にありがたい気持ちになりました。卒業生のアフターフォローとして本校でもこのような形で実施していますので、お知りおきいただければと思います。今後の進路に向けてご活用くだされば幸いです。

ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。この場を借りてお礼に代えさせていただきます。

次回の進路だよりでは、保護者様からいただいた質問の「ケースワーカーをあすばるから事業所に切り替えるタイミング」について回答させていただきます。